

平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月13日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <http://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 渡邊 正直

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績(平成27年6月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	10,788	△2.9	50	△59.4	28	△77.8	△32	—
27年5月期第1四半期	11,116	8.6	123	△55.4	128	△51.9	17	△81.2

(注) 包括利益 28年5月期第1四半期 △14百万円 (—%) 27年5月期第1四半期 13百万円 (△85.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	△4.28	—
27年5月期第1四半期	2.25	2.25

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年5月期第1四半期	32,752		12,087		36.8	
27年5月期	32,698		12,212		37.2	

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 12,049百万円 27年5月期 12,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年5月期	—	—	—	14.00	14.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,096	0.5	△148	—	△238	—	△405	—	△52.66
通期	46,885	1.9	245	△67.8	121	△84.8	△747	—	△97.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期1Q	7,694,300 株	27年5月期	7,694,300 株
28年5月期1Q	— 株	27年5月期	— 株
28年5月期1Q	7,694,300 株	27年5月期1Q	7,693,600 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年6月1日～平成27年8月31日）におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀の金融緩和策の継続、円安傾向が持続する為替動向や原油価格の下落などにより、企業業績は成長をみせ、雇用情勢にも改善はみられるものの、中国経済の減速による日経平均株価の下落など、不安定な側面もあり今後の動向が注視されております。

このような状況の下、当社グループは、独創的なワン・アンド・オンリーの空間をお客様に提供し続けることにより、「モノを買う」というニーズを満たすだけでなく、「モノとモノの融合、モノとコトの融合」によって「新しい発見」や「買い物の楽しさ」をお客様に提供することをコンセプトとし事業活動を行ってまいりました。

このような方針のもと、店舗運営におきましては、お客様に新しい発見や驚き、楽しさを提供できる新しいタイプの売り場づくりへの挑戦、業態別・店舗タイプ別の営業施策、POSを活用した商品施策の推進にとどまらず、アウトレット店舗における在庫商品の販売に取り組み、商品在庫の適正化を重点的に進めるとともに、販売費及び一般管理費の削減にも取り組んでまいりました。

店舗出店につきましては、インショップへの出店を中心に推進し、直営店7店を新規出店し、直営店5店を閉鎖しました。その結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店536店、FC店12店の合計548店となりました。

このような事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては10,788百万円と前年同四半期と比べ327百万円（2.9%）の減収となりました。利益面につきましては売上高は減少いたしましたが、商品在庫の適正化により売上総利益は増加いたしました。営業費用については販売費及び一般管理費が増加した為、営業利益は50百万円と前年同四半期と比べ73百万円（59.4%）の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、32百万円（前年同四半期は17百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、今までになかった独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE（雑貨類）及びニューメディア（CD・DVD類）等の商材を融合させ、独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、本格的なアメリカンハンバーガーを提供する飲食店「ヴィレッジヴァンガードダイナー」、食べるコトの楽しさを提案する「HOME COMING」、アウトレット業態「Vintage Vanguard等」などを運営しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は8,527百万円と前年同四半期と比べ441百万円

（4.9%）の減収となりました。在庫コントロールによる原価率の改善と販売費及び一般管理費削減により営業利益は270百万円と前年同四半期と比べ202百万円（301.1%）の増益となりました。店舗数につきましては直営店2店の新規出店、直営店3店の閉鎖をし、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は直営店376店、FC店11店の合計387店となりました。

②株式会社チチカカ

株式会社チチカカは、主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様と生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE」と名付け、世界の仲間と共に成長することを心がけております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は1,990百万円と前年同四半期と比べ89百万円

（4.7%）の増収となりました。為替影響により粗利率が悪化するとともに、販売費及び一般管理費も増加したため、営業損失が206百万円（前年同四半期は45百万円の営業利益）となりました。

なお、店舗数につきましては直営店4店の新規出店を行い当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店146店、FC1店の合計147店となりました。

③TITICACA HONGKONG LIMITED

TITICACA HONGKONG LIMITEDは香港において主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っております。株式会社チチカカ同様、エスニックファッションの販売だけでなく、「世界の文化を伝えること」を使命と考え、お客様と生産者の「HAPPY」をつなげることを「HAPPY TRADE」と名付け、世界の仲間と共に成長することを心掛けております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は169百万円と前年同四半期と比べ44百万円（35.7%）の増収となりました。営業利益は25百万円と前年同四半期と比べ9百万円（55.8%）の増益となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店7店となっております。

④その他

その他は、株式会社Village Vanguard Webbedにてオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売、Village Vanguard (Hong Kong) Limited及びVillage Vanguard (Taiwan) Limitedにて香港及び台湾での書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。

また、比利緹卡(上海)商贸有限公司は主にエスニック雑貨・衣料の企画販売を行っており、当社グループの生産拠点および、上海・天津にて直営店を3店舗運営しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は269百万円と前年同四半期と比べ19百万円（7.9%）の増収となりました。営業損失は48百万円（前年同四半期は13百万円の営業損失）となりました。

なお、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましては賃貸借契約条件や今後の店舗損益を考慮して順次、事業を撤退することを決定しており、Village Vanguard (Taiwan) Limitedにおいては2015年6月末をもって店舗を閉店いたしております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況は、以下のとおりであります。

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.1%増加し、25,151百万円となりました。これは、現金及び預金が47百万円減少、受取手形及び売掛金が284百万円減少、商品が339百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、7,601百万円となりました。これは、建物及び構築物が52百万円、差入保証金が16百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%増加し、32,752百万円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、10,649百万円となりました。これは、買掛金が387百万円増加、短期借入金が100百万円、1年内返済予定の長期借入金が132百万円増加いたしました。未払法人税が128百万円、未払消費税が275百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.4%増加し、10,015百万円となりました。これは、長期借入金が204百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%増加し、20,665百万円となりました。

(ハ) 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて125百万円減少し、12,087百万円となりました。これは、配当金の支払いが107百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円により利益剰余金が140百万円減少、為替換算調整勘定が17百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ47百万円減少し、当第1四半期連結会計期間には2,234百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は74百万円（対前年同四半期：542百万円の支出）となりました。

これは、主に、売上債権の減少額275百万円、仕入債務の増加額381百万円、があったためであります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は397百万円（対前年同四半期：615百万円の支出）となりました。

これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が289百万円、差入保証金の差入による支出が52百万円あったためであります。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は272百万円（対前年同四半期：1,230百万円の収入）となりました。

これは、主に長期借入れによる収入が1,308百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が971百万円、配当金の支払額が107百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月15日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果をなす場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,302	2,254
受取手形及び売掛金	2,447	2,163
商品	19,911	20,250
繰延税金資産	14	13
その他	451	472
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	25,124	25,151
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,362	3,415
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	949	911
建設仮勘定	17	4
有形固定資産合計	4,330	4,331
無形固定資産		
ソフトウェア	249	293
ソフトウェア仮勘定	67	40
その他	2	2
無形固定資産合計	319	336
投資その他の資産		
長期前払費用	301	294
差入保証金	2,621	2,637
その他	0	0
投資その他の資産合計	2,923	2,933
固定資産合計	7,573	7,601
資産合計	32,698	32,752

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,706	4,093
短期借入金	900	1,000
1年内償還予定の社債	10	-
1年内返済予定の長期借入金	3,602	3,734
未払金	857	694
未払法人税等	209	81
未払消費税等	418	143
株主優待引当金	119	90
賞与引当金	130	90
資産除去債務	10	14
その他	737	706
流動負債合計	10,704	10,649
固定負債		
長期借入金	7,525	7,729
長期未払金	223	238
役員退職慰労引当金	286	273
退職給付に係る負債	212	218
資産除去債務	1,468	1,495
その他	64	59
固定負債合計	9,781	10,015
負債合計	20,485	20,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,242	2,242
資本剰余金	2,219	2,219
利益剰余金	7,628	7,487
株主資本合計	12,091	11,950
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	75	93
退職給付に係る調整累計額	4	4
その他の包括利益累計額合計	80	98
新株予約権	41	38
純資産合計	12,212	12,087
負債純資産合計	32,698	32,752

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	11,116	10,788
売上原価	6,386	5,944
売上総利益	4,730	4,844
販売費及び一般管理費	4,606	4,793
営業利益	123	50
営業外収益		
仕入割引	5	10
業務受託料	17	19
為替差益	3	0
その他	8	17
営業外収益合計	35	47
営業外費用		
営業外支払手数料	0	37
支払利息	29	30
その他	1	1
営業外費用合計	30	69
経常利益	128	28
特別利益		
固定資産売却益	—	1
新株予約権戻入益	9	3
特別利益合計	9	4
特別損失		
固定資産除却損	10	20
減損損失	35	2
その他	5	—
特別損失合計	51	22
税金等調整前四半期純利益	86	10
法人税等	69	43
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17	△32
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△32

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	17	△32
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2	17
退職給付に係る調整額	△1	0
その他の包括利益合計	△4	18
四半期包括利益	13	△14
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13	△14
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	86	10
減価償却費	187	221
減損損失	35	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4	7
売上債権の増減額(△は増加)	△562	275
たな卸資産の増減額(△は増加)	△205	△335
仕入債務の増減額(△は減少)	230	381
その他	△206	△274
小計	△429	289
利息及び配当金の受取額	0	1
利息の支払額	△29	△30
法人税等の支払額	△84	△185
営業活動によるキャッシュ・フロー	△542	74
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△455	△289
無形固定資産の取得による支出	△4	△51
差入保証金の差入による支出	△110	△52
差入保証金の回収による収入	15	17
その他	△59	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△615	△397
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	100
長期借入れによる収入	2,130	1,308
長期借入金の返済による支出	△754	△971
社債の償還による支出	△10	△10
長期未払金の増減額(△は減少)	△27	△9
配当金の支払額	△107	△107
その他	△0	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,230	272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	70	△47
現金及び現金同等物の期首残高	1,618	2,282
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,689	2,234

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成26年6月1日至平成26年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	㈱ヴィレッジ ヴァンガードコー ポレーション	㈱チチカカ	TITICACA HONGKONG LIMITED	その他 (注) 3			
売上高							
外部顧客への売上高	8,969	1,860	124	161	11,116	—	11,116
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	40	—	88	128	△128	—
計	8,969	1,901	124	250	11,245	△128	11,116
セグメント利益又は損失 (△)	67	45	16	△13	115	8	123

(注) 1. セグメント利益の調整額8百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡（上海）商贸有限公司が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成27年6月1日至平成27年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション	㈱チチカカ	TITICACA HONGKONG LIMITED	その他 (注) 3			
売上高							
外部顧客への売上高	8,520	1,941	169	156	10,788	—	10,788
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	48	—	112	168	△168	—
計	8,527	1,990	169	269	10,956	△168	10,788
セグメント利益又は損失 (△)	270	△206	25	△48	40	10	50

(注) 1. セグメント利益の調整額10百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、Village Vanguard (Taiwan) Limited、比利緹卡（上海）商贸有限公司が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。